

「第31回 港南区の歴史散歩」

1. 日時、コース

- (1) 日時 : 平成16年7月3日 9:00~12:00
- (2) コース : 上大岡駅前通~久良岐の丘・上大岡東地域
京急上大岡駅 ⇒「花里」(上大岡東1-11) ⇒上大岡駅東口の石仏
(上大岡東1-11) ⇒金沢道・森・杉田分岐点 ⇒北見家と横浜焼
(上大岡東1-3) ⇒富士見道路頭彰碑(上大岡東1-5) ⇒北見家
(上大岡港南3-11) ⇒山野井家(上大岡東1-20) ⇒源為朝碑
(上大岡東1-18) ⇒真光寺(上大岡東3-1) ⇒黒船見学(上大岡東3-9)
⇒上大岡小学校(上大岡東3-11) ⇒上大岡簡易水道(上大岡東2-20)
⇒北見家(上大岡東2-8)



注1: 囲み数字(例=③)はスナップ写真に記載されている番号を示す。

2. 当日のスナップ

上大岡東、元日本航空社宅 3.4 号館あたりに大塚古墳がありました。径 6m と 4m の塚を持つ、前方後円墳と確認され、港南区で確認された古墳の一つです。

また、上大岡東 2~3 丁目 字平台（上大岡小東側から汐見台団地）には平台遺跡が発掘調査(1961)され、縄文・弥生時代の石器・土器類等古墳時代の土師器など出土されました。これら出土品は現在、汐見台団地管理事務所(汐見苑)に保存展示されています。

文政六年(1823)の「地誌御調書上帳」によると、元禄十年(1697)に旗本荒川氏と、旗本倉橋氏の支配地の中に属し、それぞれに名主をはじめとする村役人が置かれました。村の東側の丘陵に村民が所有していた山(百姓山)があったそうです。戸数は 60 軒ほどでしたが 19 世紀のはじめには 51 軒となりました。

大正 12 年に北見家が始めた横浜焼き(登り窯で素焼きし、絵付け釉薬を塗り再度焼いた)は昭和 17 年ころまで続けました。

- (1) 京急上大岡駅東口
の子育て地蔵祠と石仏
駅前開発でここに



- (2) 最戸橋際の古道
上大岡東 1-1 付近
左奥、森・杉田道



- (3) 横浜焼き・北見家
北見家の門前、門前右手に
「不老門」銘の石柱がある



- (4) 横浜焼き-作品 1
関東大震災後、ここに
あった登窯で焼かれた



- (5) 横浜焼き-作品 2
薩摩焼風のものに彫刻を
施し釉薬と絵具で彩色



- (6) 富士見道路頭彰碑
昭和 40 年に作られた
幅 6m 長さ 43m の道



(6) 北見家裏山の石祠と板碑
ともに建立年代不詳
ア、石祠 イ、板碑



(7) 山野井家の捕り物道具と祠の縁の下にある板碑
ア、捕り物道具 イ、板碑
この他、高札等も保存あり 線刻不明



(8) 大塚古墳跡
右側マンションあたりに
左下が山野井家の裏山



(9) 源為朝の祠
この地は八郎ヶ谷
と呼ばれていた



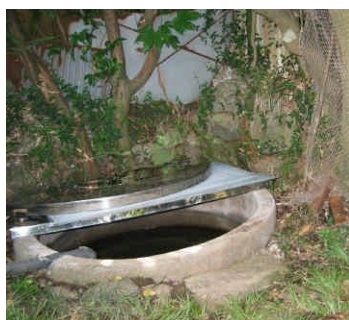
(10) 真光寺
高野山真言宗、草創年代は不詳
近隣では弘明寺に次ぐ古刹



(13) 黒船見学と石仏
幕末時、黒船を見に
ここに集まった。



(14) 横浜の簡易水道
小林家邸内の井戸で、
現在も枯れることがない



(15) 北見家の門
およそ 400 年前に建てられ
騎乗のまま通れたとの伝え



以上